



<道しるべ>

人は鏡
自分が怒れば、相手も起こる
自分が笑えば、相手も笑う
自分が変われば、相手も変わる

<学校教育目標>
自ら学び 自他を尊重し
心豊かでたくましい生徒の育成

<重点目標（スローガン）>
感謝+優しさ=笑顔と幸せへの道
発行：長崎市立丸尾中学校
文責：校長 川口 猛
令和8年7月25日（金）NO23

丸尾中フェスタに向けて

10月4日（日）に行われる丸尾中フェスタにつきましては、既に案内が届いていると存じます。運動の部、歌声の部二部構成で、赤団、青団と全校生徒が2つのグループに分かれて、練習を重ねています。本格的な練習がスタートして、今週で2週間になりますが、生徒の様子を少しだけ覗いてい見ると、次のような光景が見られます。

- 上級生がしっかり下級生をリードしている光景
- 生徒が自ら考え、それを共有し、お互いに考えを出し合って、デンマーク体操の振り付けを練習している。
- 指導する音楽の先生の指示を守り、楽譜を見ながら、強弱とか表現する部分に注意をしながら進めている。
- 練習に間に合うように急ぎ移動している。
- 練習を始めるときの「おねがいします」という声が、少しずつ大きくなってきたように感じる。
- 次の授業に間に合うように急いで移動している。
- 振付を工夫したり、覚えようと一生懸命頑張っている。
- 歌声の部では、各パート、3年生を中心になって下級生をリードする姿から2年生もリードしていく姿勢を学んでいる。
- ふざけたり、真剣みがない人が少なくなってきた。
- 歌声の部も頑張ろうという意識が明確になってきた。

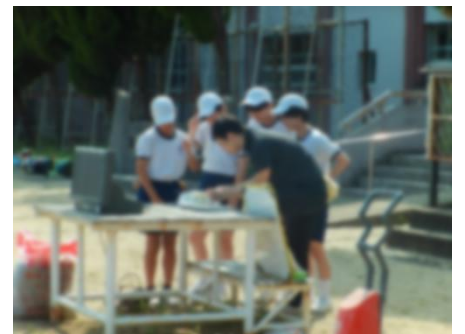
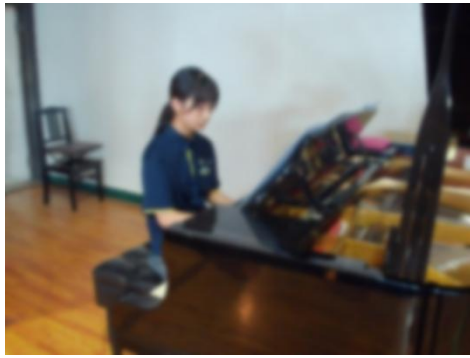
学校行事というのは、集団で協力し合いながら、そして場合によっては、支え合いながら一つの価値あるものを創造していく活動です。本校では、運動の部と歌声の部と2つの舞台が与えられ、望ましい集団作り、この学校行事をとおして学びます。そして、学習指導要領にある「主体的な学び」「協働的な学び」の実践であり、そこで得たものは、生徒一人一人の「自己肯定感」の高まりや、「自尊感情」の高揚へとつながることで、より一層深く学ぼうとする主体性の高まりになります。学校行事で得た学習スキルは、学習面や進路実現など様々なところで活かされていくようになります。より良い集団の形成とその高まりは、将来の社会に直結した内容です。現代は、個人主義がいろんな場面で尊重される時代に

なりました。個性の発揮、個が生かされることの大切さという視点から、それは大変大切な要素です。同時に、将来、子どもたちが大人になって職業生活を歩むようになった時には、集団の規模は様々なですが、多くの人間とかかわりを持ちながら生きていくことになり、社会集団に属して、生活していくことになります。その社会集団の形態・性質は、現在の社会集団とは異なると思います。まさに、予測不可能な社会の中野の集団生活で生きていくことは間違いありません。令和世代の社会集団であろうと、もっと進化した社会集団であろうと、社会集団の中で生きていくには、最低必要減のスキルが大切です。高等学校の通信制で、スクーリングあり、特別活動の単位があることは、社会への必要性を示しているのと同じだと考えます。

集団として、目標を掲げ、その達成に向けて主体的に動き、努力する場面は、この学校行事以外にもたくさんあります。個人に求められる活動は、難易度の高い活動ではなく、中学生であれば十分対応可能なレベルと考えます。小さなことをしっかり頑張る。この2学期の重点目標として掲げる「凡事徹底」のスキル向上を目指し各人頑張してほしいと思います。

特に、今回の丸尾中フェスティバルは大きな成果を目指して取り組む特別活動です。一人一人の意識と行動が大きな成果を生み、個人の成長にフィードバックすると信じています。生徒たちの頑張る姿は、感動を生みます。ぜひご参観のほどをお願い申し上げます。





2学期のキープラス: 凡事徹底 (ぼんじてってい)

当たり前のことを、誰も真似できないくらい一生懸命やる



心通う挨拶

相手の目を見て、自分から気持ちの良い挨拶を届けること。



規律の厳守

2分前着席・1分間黙想で、心と行動の準備を整えること。他人への行動



思いやりの行動

支え合う集団・思いやりの行動
「ありがとう」を言葉にし、相手を気遣う優しさを持つこと